

最近のPIARCの取組について

2025年12月15日

PIARC前実行委員、アドバイザリーチーム副議長
平井節生



目次

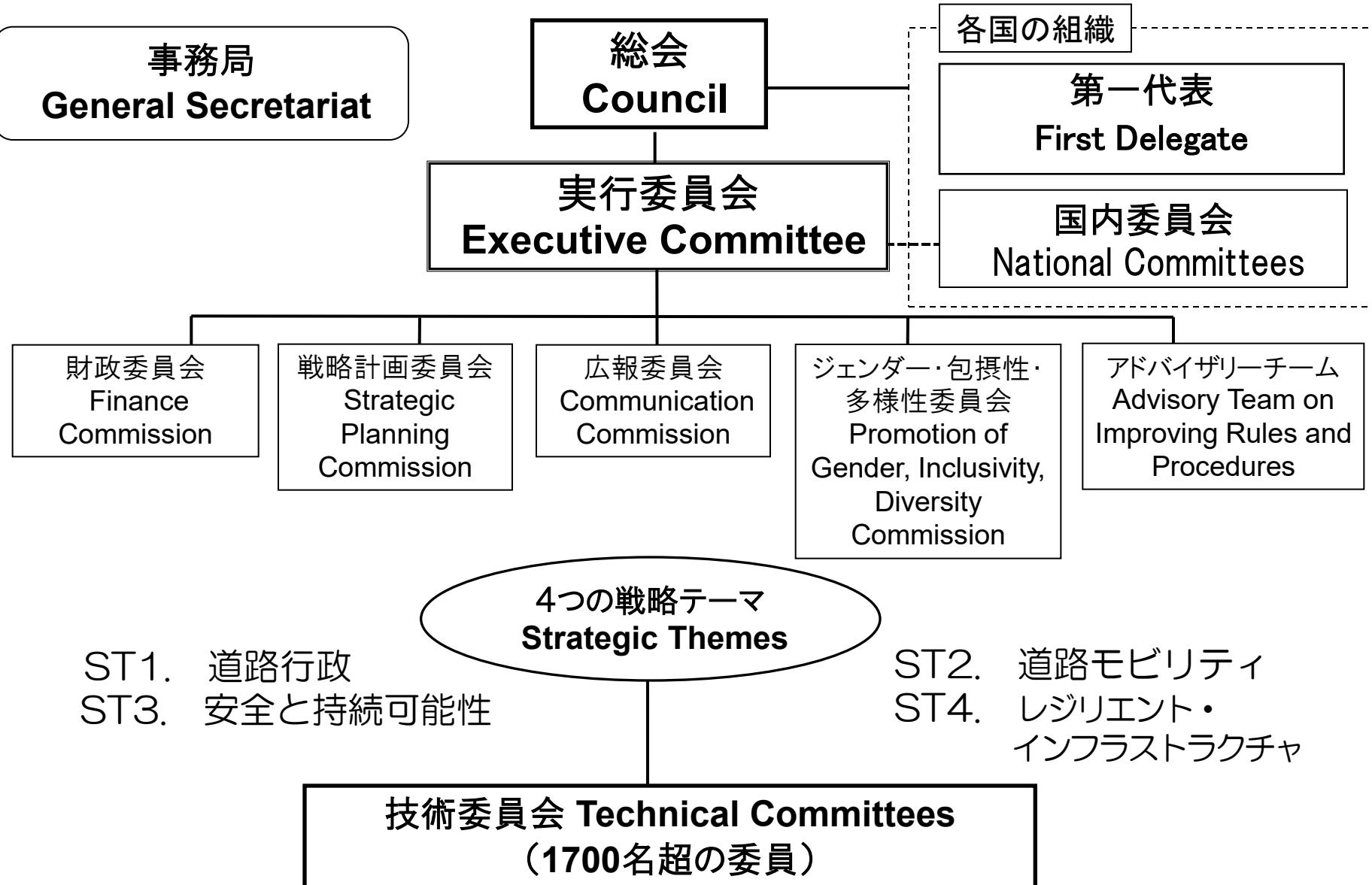
1. 概要
2. 組織
3. 運営に関する最近の動き
4. 戦略計画
5. スペシャルプロジェクト
6. 世界道路会議・国際冬期道路会議
7. PIARCと日本
8. PIARC日本国内委員会の活動

1. 概要

○ PIARC とは

- Permanent International Association of Road Conference
- 1909年設立、事務局：パリ
- 道路・道路交通分野における国際的協力の推進や発展強化を主たる目的とした、道路交通分野で最も歴史のある国際機関、非営利組織
- 道路交通に関する各種技術報告書等の作成と普及・啓発
- 1970年、国連の経済社会理事会の諮問機関として承認
- 128の政府会員と140カ国以上の団体/個人会員
- 日本を含む50カ国に国内委員会

2. 組織 (2025年12月時点)



会長・副会長・実行委員

○ 実行委員会メンバー（2025-2028）

- PIARC会長

Emanuela Stocchi

(イタリア、AISCAT)



- 前会長 Nazir Alli (南アフリカ)
- 副会長 Alexander Walcher (オーストリア)
Dhamananda Sarangi (インド)
Mamoudou Alassane Camara (セネガル)
- 実行委員会 会長・前会長・副会長・国内委員会代表を含む28名のメンバーで構成、任期4年間

運営関係会議

○ 年次総会は年に1回開催、実行委員会は年に2回開催

開催年月	会議	開催国（都市）	備考（主なトピック）
2022年10月	実行委員会	オンライン	<ul style="list-style-type: none">・次期戦略計画案(2024-27)に関する検討・議論・決算、予算の承認 他
2022年11月	総会 実行委員会	ダカール（セネガル）	<ul style="list-style-type: none">・次期戦略計画案に関する検討・承認、・決算、予算の承認 他
2023年4月	実行委員会	デヘラドゥーン（インド）	<ul style="list-style-type: none">・STコーディネーター、TCチア等の決定 他
2023年9月	実行委員会	オンライン	<ul style="list-style-type: none">・次期戦略計画の検討・議論
2023年9月	総会	プラハ（世界大会と合わせて開催）	<ul style="list-style-type: none">・次期戦略計画の承認・2027年世界大会開催地選挙 他
2024年4月	実行委員会	ローマ	<ul style="list-style-type: none">・次期戦略計画のワークプラン承認
2024年9月	実行委員会	ケープタウン	<ul style="list-style-type: none">・2025年予算と会費の審議
2024年11月	総会	アンドラ	<ul style="list-style-type: none">・2025年予算と会費の承認・会長、副会長及び実行委員選挙
2025年4月	実行委員会	アスタナ（カザフスタン）	<ul style="list-style-type: none">・2025年予算の会費の審議
2025年10月	総会	コヤン（韓国）	<ul style="list-style-type: none">・2025年予算と会費の承認・新事務局長承認

3. 運営に関する最近の動き（1）

- 事務局長の交替
 - ・2026年3月31日で任期を迎える事務局長（Patrick Mallejacq（フランス））
→Miguel Caso Florez（スペイン、現テクニカルディレクター）（コヤン総会で承認）
- 副事務局長の交替
 - ・2025年12月で任期を迎える副事務局長（Robin Seville（フランス））の後任についてメンバー国からの派遣（費用はその国持ち）を募集。
- テクニカルディレクターの公募

3. 運営に関する最近の動き（2）

○ 財政難を背景とした事務局の軽量化

- ・キャリア職員の雇用費用削減
- ・オフィス面積の削減
- ・臨時雇用の増加

PIARC事務局（パリ）

- ・事務局長
- ・副事務局長
- ・テクニカルディレクター
- ・事務局員（9名）
- ・テクニカルアドバイザー
(7名（日本等から派遣）)

○ 新たな会員制度の模索（コヤン総会で議論）

- ・会員管理の近代化
- ・特典を伴う特別会費の創設（政府会員）
- ・民間会員制度の強化

4. 戰略計画 (Strategic Plan) (1)

【戦略計画とは】

- ・ 4年を1タームとするPIARCの活動計画
- ・ 1996年に導入され、2024年より8ターム目（2024-2027）
- ・ Section 1 : PIARCのビジョン、ミッション、道路分野に関する現在および将来の重要課題）、
- ・ Section 2 : 技術活動の組織体制（技術委員会、TOR等）

【戦略計画の策定】

- ・ 戦略計画委員会が、加盟国第一代表、国内委員会、技術委員会等の議長、戦略テーマコーディネーターらの意見を取り入れて策定

4. 戦略計画 (Strategic Plan) (2)

○ 技術委員会 (Technical Committee) による調査研究

- PIARC活動の中核を担うものであり、各国の専門家がボランティアにて参加（23委員会、1700名超の参加）
- 最終年度に成果として技術報告書を提出（英、仏、西の3カ国語）また、世界道路会議にて技術セッションを主催し発表

技術委員会 (TC)	
任期	4年間
会議	年2回の会議
ワーキングショップ [°]	各TCの判断により開催
セミナー	途上国にて4年間に2回開催

4. 戰略計画（3）

○ 技術委員会（2024-2027）

（下線は本ストラテジックプランで新設された技術委員会）

ST1：道路行政	ST2：道路モビリティ	ST3：安全と持続可能性	ST4：レジリエント・インフラストラクチャ	分野横断
1.1 交通行政のパフォーマンス 1.2 経済・社会発展への道路の貢献 1.3 資金と調達 1.4 道路ネットワークのレジリエンスの計画－気候変動と他の災害 1.5 災害マネジメント	2.1 都市部と郊外部のアクセシビリティとモビリティのための道路 2.2 地方部と都市間部における公平性、アクセシビリティとモビリティのための道路 2.3 持続可能な貨物輸送 2.4 持続可能性のための道路ネットワーク管理とITS <u>2.5 コネクテッドと自動運転のモビリティのための道路インフラ</u>	3.1 道路の安全 3.2 冬期サービス 3.3 アセットマネジメント 3.4 道路インフラと交通における環境持続性 <u>3.5 道路交通の脱炭素化</u>	4.1 舗装 4.2 橋梁 4.3 土工 4.4 トンネル <u>4.5 道路の建設・管理における脱炭素化</u> <u>4.6 道路設計基準</u>	・ターミナル ・道路統計

4. 戰略計画（最近の技術レポート等）

○ 技術レポート・季刊誌等の発行・頒布

・ 技術レポート

技術委員会が4年間の研究内容をとりまとめたもの

・ 季刊誌「Routes/Roads」

PIARCが会員向けに年4回発行している機関誌

・ オンラインマニュアル

- ・ 災害マネジメント
- ・ 道路アセットマネジメント
- ・ 道路安全
- ・ RNOと ITS
- ・ 道路トンネル
- ・ 土工



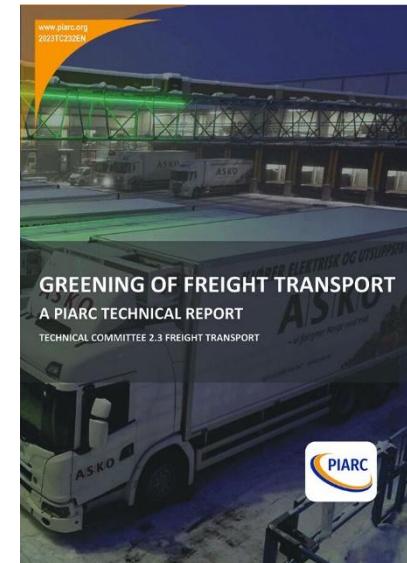
4. 戰略計画（最近の技術レポート等）

【地球温暖化防止】

■ Greening of Freight Transport

(2020-2023 term, TC2.3 Freight)

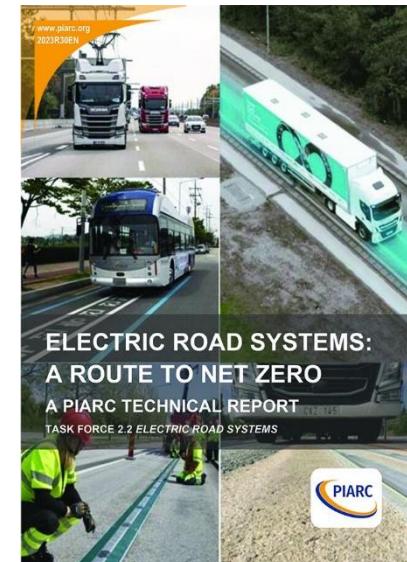
貨物輸送の環境負荷低下のための施策や事例
低走行、大積載、輸送需要マネージメント等



■ Electric Road Systems – A Route to Net Zero

(2020-2023 term, TF 2.2 Electric Road Systems)

電気道路システム（ERS）の導入による炭素
排出削減の可能性、技術的課題等。



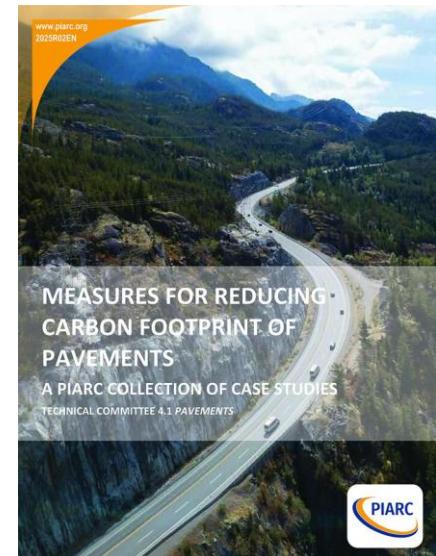
4. 戰略計画（最近の技術レポート等）

【地球温暖化防止】

■ Measures for Reducing Carbon Footprint of Pavements

(2024-2027 term, TC4.1 Pavements)

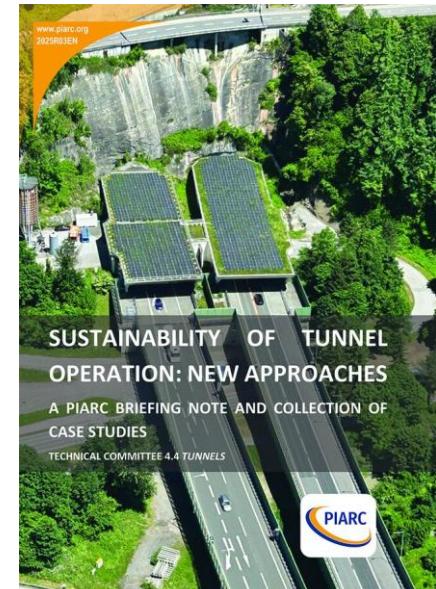
バイオバインダー、ウォームミクスアスファルト等、16か国、26件の低炭素舗装のケーススタディ。



■ Sustainability of Tunnel Operation: New Approaches

(2024-2027 term, TC4.4 Tunnels)

照明、換気、空調における低エネルギー化、太陽光発電、低交通量トンネルにおける省電力の工夫等、23件のケーススタディ。



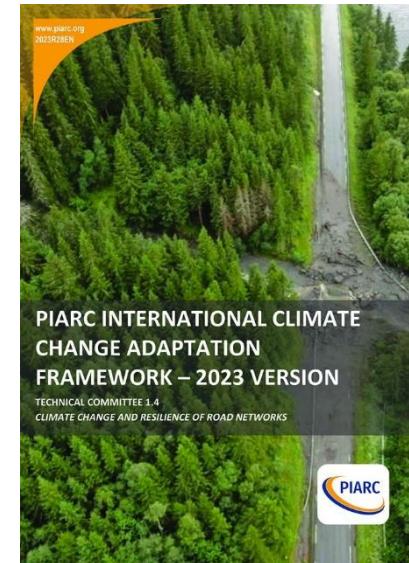
4. 戰略計画（最近の技術レポート等）

【地球温暖化対応】

■ PIARC International Climate Change Adaptation Framework 2023

(2020-2023 term TC1.4 Climate Change and Resilience of Road Networks)

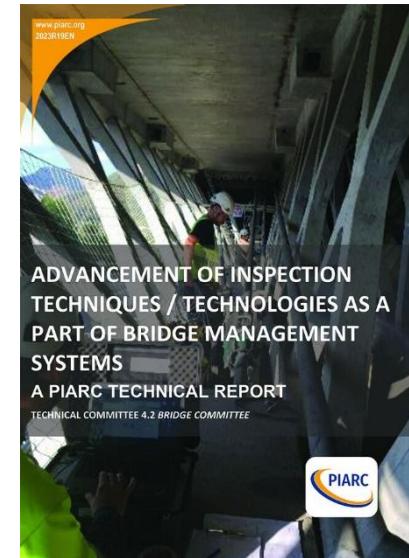
2019年の気候変動適応フレームワークを2023年版に改定。柔軟な対応が可能な構造、データ取得状況に応じて適用できる手法。



■ Measures for Increasing the Adaptability of Road Bridges to Climate Change

(2020-2023 term TC4.2 Bridges)

気候変動に対する橋梁のレジリエンスを高める方策について15カ国19事例を収集。多くの国では気候変動に対する設計基準や管理方法の適応が進んでいない。



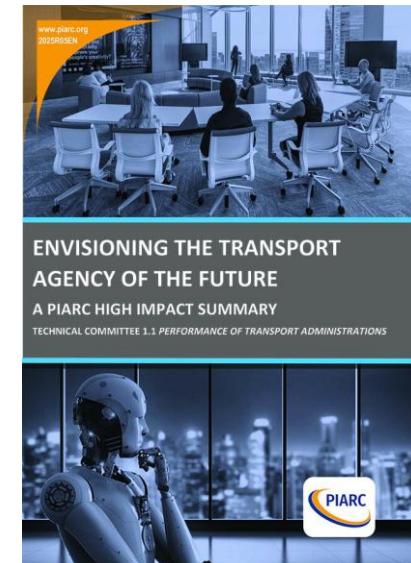
4. 戰略計画（最近の技術レポート等）

【時代に対応した道路組織】

- Envisioning the Transport Agency of the Future
- A PIARC High Impact Summary -

(2024-2027 term TC1.1 Performance of Transport Administrations)

環境変化（地球環境、新技術、経済・社会、政治）に対応した道路組織の構築方法

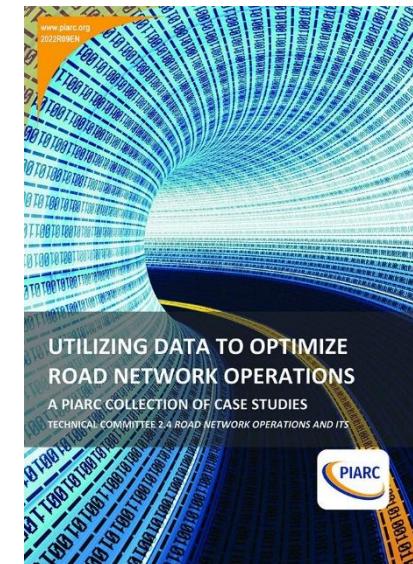


【ITS】

- Utilizing Data to Optimize Road Network Operations

(2020-2023 term TC2.4 Road Network Operation / Intelligent Transportation Systems)

データを活用した道路交通改善の取組21事例を収集。交通データのプラットフォーム、CCTVカメラによる交通状況管理、AIを用いた渋滞解析等。



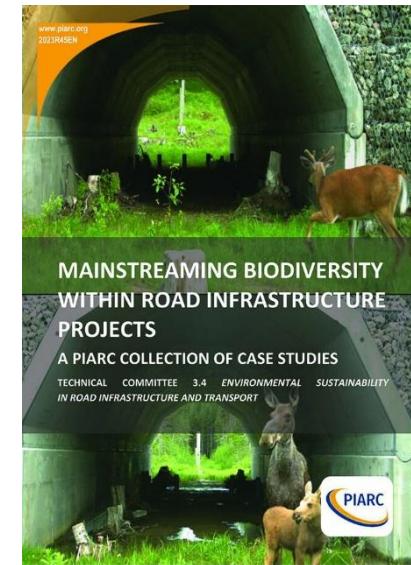
4. 戦略計画（最近の技術レポート等）

【生物多様性】

■ Mainstreaming Biodiversity within Road Infrastructure Projects

(2020-2023 term TC3.4 Environmental Sustainability in Road Infrastructure and Transport)

道路インフラが生物多様性に与える影響を評価し、その保全と持続可能な開発を目指すための実践的なガイド。



【多様性と職能管理】

■ It's All About People – Defining and Promoting Diversity and New Talent Management

(2020-2023 term TC1.1 Performance of Transport Administrations)

ケーススタディを通じて、交通部門における組織内の多様性の推進と人材管理における課題とアプローチを検討。



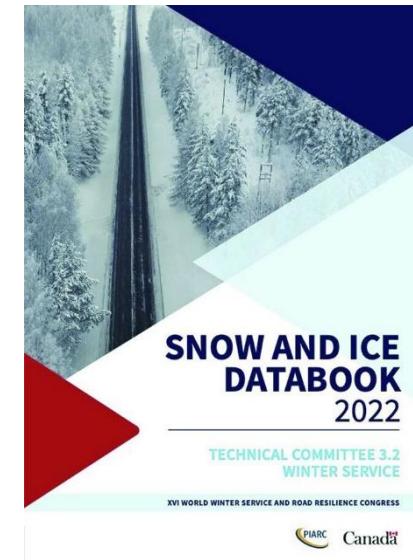
4. 戰略計画（最近の技術レポート等）

【雪氷データブック】

■ Snow and Ice Databook 2022

(2020-2023 term TC3.2 Winter Service)

世界各国の冬期道路管理の情報を掲載した資料集。4年毎に改訂され2022年版は20カ国1地域を収録。

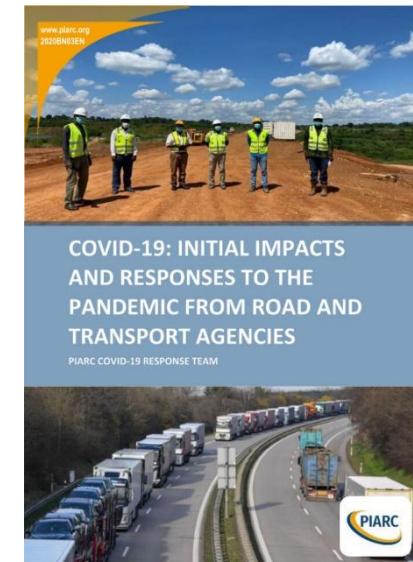


【COVID-19 Response Team】

■ COVID-19: initial impacts and responses to the pandemic from road and transport agencies

日本等10か国からのエキスパートによるチームを形成、議長はPIARC事務局長。

約30回に及ぶCovid-19と道路交通に関するワークショップを開催して各国の状況をフォローし、スペシャルレポートを発表。



5. スペシャルプロジェクト（1）

○スペシャルプロジェクト

- ・戦略計画には定められていない重要なテーマに柔軟に対応し、外部コンサル等への委託により調査研究を行うスキーム
- ・テーマおよびプロジェクト資金は会員各国等への募集を実施
- ・プロジェクト報告書はPIARCウェブサイトから無料DLが可能

実施年	近年のプロジェクト
2022	Equity and Accessibility Carbon Neutrality of the Road Sector ※日本も出資
2023	Bicycle Paths & Expressways Managing Innovation in Transport Agencies Raising Awareness on Gender Inclusion and Diversity
2024	Artificial Intelligence (AI) in the Road Sector ※日本も出資 Rapid Impact Assessment Update of the PIARC Road Safety Manual
2025	Motorcycle Protection System Management of Road Worksites
2026	Digital Twins Fairness for Impairedness

5. スペシャルプロジェクト（2）2026年予定

○ ディジタル・ツイン

- 世界情勢のレポートと自己診断ツール
- クイックスタートガイド
- ケーススタディ



○ 障碍者へのフェアなサービス

- 技術レポート
- 交通モード間の基準となるスタディ
- 自治体と交通事業者へのガイド



6. 世界道路会議・冬期世界道路会議（1）

- ・道路と道路交通における技術と経験を世界で共有するため、4年毎に開催
- ・大臣セッション、特別セッション、戦略方向性セッション、技術委員会セッション、技術展示会等を開催

開催年	会議	開催国	開催都市
2015年	第25回世界道路会議	韓国	ソウル
2018年	第15回冬期道路会議	ポーランド	グダンスク
2019年	第26回世界道路会議	アラブ首長国連邦	アブダビ
2022年	第16回冬期道路会議	カナダ	カルガリー（バーチャル開催）
2023年	第27回世界道路会議	チェコ共和国	プラハ

(今後)

2026年	第17回 冬期世界道路会議	フランス	シャンベリー
2027年	第28回 世界道路会議	カナダ	バンクーバー

6. 世界道路会議・国際冬期道路会議（2）

- 第16回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会
(カルガリー冬期大会)



1. 開催期間 : 2022年2月7日(月)-11日(金)
2. 開催方式 : 完全バーチャル開催
3. 大会テーマ : Adapting to a Changing World
4. 主なイベント : 大臣セッション、技術セッション、バーチャル技術展示会
5. 参加者 : 約800名
6. 技術論文 : 41カ国から227編が採択

★PIARC賞4部門中、3部門で日本から4論文が受賞！

★日本道路協会は「低中所得国の著者」部門のスポンサー

7. 技術展示会 : 国土交通省と高速道路4社が共同出展

6. 世界道路会議・国際冬期道路会議（3）

○ 第27回世界道路会議（プラハ大会）

1. 開催期間：2023年10月2日(月)-6日(金)
2. 開催地：チェコ共和国 プラハ市
3. テーマ：Together on the Road again
4. 主なイベント：大臣セッション、技術セッション、技術展示会
5. 参加者：約6,000名
6. 技術論文：71カ国から525編が採択
★日本の論文数は53編(チェコ63編に次ぎ、2位)
7. PIARC賞：優秀論文賞として8つの部門を設置
★PIARC賞8部門中、3部門で日本の論文が受賞！
- ★日本道路協会は「低中所得国の著者」部門のスポンサー



6. 世界道路会議・国際冬期道路会議（4）

○ 第17回 道路の冬期サービス、レジリエンス及び脱炭素化に関する世界大会

1. 期間 : 2026年3月10日(火)-13日(金)



2. 開催地 : フランス シャンベリー

3. 大会テーマ : Ensuring road excellence in all seasons

4. その他

- 冬期大会としては過去最大の論文数
- 日本から48本の論文（フランスに次ぐ2位）、日本ブース
- Early bird 料金 : 2026年1月7日まで

<https://www.piarc-chambery2026.com/registrations>



6. 世界道路会議・国際冬期道路会議（5）

○ 第28回世界道路会議（バンクーバー大会）

1. 期間 : 2027年10月4日(火)-8日(金)
2. 大会テーマ : “Green Means Go: Paving the Road to a Cleaner Future”
3. 開催地 : カナダ バンクーバー
4. その他

Call for papers: mid 2026

www.wrc2027vancouver.com



7. PIARCと日本（1）

日本の加盟	1910年 (PIARC設立の翌年)
日本第一代表	国土交通省道路局長　沓掛敏夫 氏
日本国内委員会 委員長	日本道路協会長　深澤淳志　氏 
技術委員会 (2024-2027)	18の委員会に約60名の土木技術者・学識経験者が参画 戦略テーマ3 コーディネーター：田村敬一 氏
運営的委員 (2025-2028)	実行委員：平井節生→吉岡幹夫 氏 (11月1日付け) 戦略計画委員会委員：吉木 務 氏 アドバイザリーチーム：平井節生 氏
PIARC事務局	2名のテクニカルアドバイザーを派遣 (広地 豪氏 (NEXCO東日本)・松原朋弘氏 (国土交通省) (派遣順))

7. PIARCと日本（2）

○ 技術委員会 日本委員（2024-2027）

戦略テーマ	技術委員会	日本委員（敬称略）
1：道路行政	1.2 経済・社会発展への道路の貢献	土肥 学（国総研 道路研究室）
	1.5 災害マネジメント	委員長；足立 幸郎（阪神高速先進技術研究所） 宮武 裕昭（土木研究所 地質・地盤研究グループ）
2：道路モビリティ	2.1 都市部と郊外部のアクセシビリティとモビリティのための道路	遠藤 玲（日本大学理工学研究所） 高柳 百合子（富山大学）
	2.3 持続可能な貨物輸送	早川 祥史（道路新産業開発機構） 今西 芳一（公共計画研究所）
	2.4持続可能性のための道路ネットワーク管理とITS	鈴木 大健（国総研 ITS研究室） 上田 敏（ITSサービス高度化機構）
	2.5]カーテッドと自動運転のモビリティのための道路インフラ	平岩 洋三（東京大学生産技術研究所） 中川 敏正（国総研 ITS研究室）
3：安全と持続可能性	3.1 道路の安全	濱岡 秀勝（秋田大学）
	3.2 冬期サービス	松下 拓樹（寒地土研 寒地道路研究グループ）
	3.3 アセッタマジメット	高野 辰雄（NEXCO東日本）
	3.4 道路インフラと交通における環境持続性	曾根 真理（フジタ）
	3.5 道路交通の脱炭素化	三保木 悅幸（国土技術研究センター）

7. PIARCと日本（3）

○ 技術委員会 日本委員（2024-2027）

戦略テーマ	技術委員会	日本委員（敬称略）
4：レジリエン ト・インフラス トラクチャ	4.1 舗装	高橋 茂樹（金沢工業大学）
	4.2 橋梁	遠藤 和男（本四高速） 坂本 佳也（本四高速）
	4.4 トンネル	砂金 伸治（東京都立大学） 日下 敦（土木研究所 道路技術研究グループ）
	4.5 道路の建設・管理における脱炭素化	吉木 務（パスコ）
	4.6 道路設計基準	河本 直志（国総研 道路研究室）
分野横断	ターミノロジー	仲谷 俊昭（国土交通省 道路局）
	道路統計	英語セクレタリ；大西 博文（片平新日本技研） 土肥 学（国総研 道路研究室） 岡 利幸（国際建設技術協会）

7. PIARCと日本（4）

○ 技術委員会・国際ワークショップの日本開催

近年の日本開催の技術委員会・国際ワークショップ

開催年月	開催場所	委員会	開催内容
2020年 11月	東京	TC4.4 トンネル	<ul style="list-style-type: none">第34回日本道路会議に合わせて開催ハイブリッド開催(発表者のみ対面)
2022年 6月	京都	TC1.5 災害マネジメント	<ul style="list-style-type: none">阪神高速道路の特別協賛、REAAAの後援、ハイブリッド開催コロナ禍で初の海外発表者の参加
2023年 5月	神戸	TC4.2 橋梁	<ul style="list-style-type: none">国際ワークショップとテクニカルビジット技術委員会
2025年 5月	大阪	TC1.5 災害マネジメント	<ul style="list-style-type: none">国際ワークショップとテクニカルビジット技術委員会
2025年 10月	東京	道路統計	<ul style="list-style-type: none">技術委員会とテクニカルビジット

7. PIARCと日本（5）

○ SURF2026（第10回路面性状に関する国際シンポジウム）

1. 期間



2026年11月9日(月)-11日(水)

2. 開催地：コングレススクエア羽田

3. テーマ：路面と社会の相互作用におけるイノベーションの推進

4. 主催／共催

主催 日本道路協会SURF2026実行委員会

共催 日本道路建設業協会、PIARC、土木学会

後援 国土交通省

5. その他

アブストラクト締切 12月31日

8. PIARC日本国内委員会の活動（1）

○ PIARC活動報告会の開催

【目的】

- PIARC活動成果の国内での共有と還元
- 国内におけるPIARC活動の活性化

【開催概要】

- 各技術委員会で日本のミッションを設定し、我が国の道路行政に有益な活動内容を中心に報告会を開催
- 「PIARC活動報告会」としてPIARC活動全般について広く情報発信（2020年・2021年はコロナ禍により実施せず）
- 2022年はオンライン配信、2023年以降は対面・オンライン・オンライン・オンデマンドを併用



8. PIARC日本国内委員会の活動（2）

○ P I A R C技術委員会等による調査報告の「道路」掲載

- ・月刊誌「道路」技術委員会による調査報告をリレー掲載

【目的】

- ・PIARC活動成果の国内での共有、会員サービス
- ・PIARC活動成果（データ等）のアーカイブ
- ・国内におけるP I A R C活動の活性化



ご清聴ありがとうございました。

